

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-90	高等学校	国語	古典探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
明治 117	古探 713 古探 714	精選 古典探究	古文編	
		精選 古典探究	漢文編	

1. 編修の基本方針

- 全ての内容を通して、教育基本法第2条各号に示された目標及び、高等学校学習指導要領に示された目標を達成できるよう教材を選択し、配列した。その中で特徴的な教材については「2. 対照表」に示した。
- 「言葉の力を育み、最高品質の日本語の姿を伝える国語教科書」という理念に基づき編修した。
「言葉の力」とは…新しい自分の発見や、未知の世界との出会いにつながる、生きる糧となる力。
「最高品質の日本語」とは…世界の中の一言語であり、歴史と伝統を持つ日本語の、多種多様な表現から厳選した、論理的明晰さや情感豊かな美しさを持つ良質な日本語。
- 上記の理念を具現化するために、本「古典探究」は、「精選 現代の国語」のテーマ（他者と出会い、自己を知る）、「精選 言語文化」のテーマ（言語文化の成り立ちを知る）を受けて、「言語文化への理解を深め、その担い手となる」というテーマに沿って編修し、生徒は、2年次には「自分の言葉を豊かにする」、3年次には「自分の言葉で文化を伝える」というゴールを目指せるようにした。最終的には、高等学校における国語の学習を通して「『自分の言葉』を見つけ、『自分の言語文化』を築く」ことを目指している。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
古文編	<p>古文を読むために必要な文語のきまり、古文特有の表現などについてまとめることで、幅広い知識と教養を身に付けることができるようにした。（第1号）</p> <p>古文に関する近代以降の評論文とコラムを採録することで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるようにした。（第1号）</p> <p>我が国で長く読み継がれてきた優れた物語や日記文学を採録し、人物の心情を読み取り、互いの解釈を認め合うことを通して、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培えるようにした。（第2号）</p> <p>単元の言語活動を設けることで、教材同士の有機的なつながりを意識するとともに、主体的に課題に取り組</p>	<p>270頁～279頁、286頁～292頁</p> <p>36頁～39頁、41頁、79頁、95頁、109頁、113頁、147頁、190頁～193頁、226頁、245頁</p> <p>10頁～15頁、44頁～52頁、55頁～67頁、82頁～93頁、98頁～108頁、136頁～146頁、150頁～153頁、168頁～179頁、196頁～215頁、230頁～245頁、248頁～250頁</p> <p>16頁、42頁、54頁、80頁、96頁、110頁、134</p>

	<p>めるようにした。(第2号)</p> <p>古人の思想や社会秩序、自然災害に関する題材を採録し、先の見えない現代社会を生きるうえでその発展に寄与する態度を養えるようにした。(第3号)</p> <p>古人の自然観に関する題材を採録し、生命を尊び、自然を大切にすることを養えるようにした。(第4号)</p> <p>我が国の優れた詩歌、芸能作品、近代以降の古典作品の現代語訳を採録し、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにした。(第5号)</p> <p>古典を学ぶ意義について書かれた文章、我が国の言語文化に関して書かれた題材を採録し、我が国の伝統と文化・郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第5号)</p>	<p>頁、148頁、154頁、166頁、180頁、194頁、218頁、228頁、246頁、252頁、260頁、269頁</p> <p>18～20頁、23頁～27頁、28頁～34頁、182頁～188頁、220頁～224頁</p> <p>21頁～22頁、70頁～75頁、78頁、156～159頁</p> <p>112～121頁、123頁～130頁、216頁～217頁、254頁～259頁</p> <p>2頁～3頁、122頁、263頁～268頁</p>
漢文編	<p>漢文を読むために必要な訓読のきまり、漢詩の形式、漢文特有の表現などについてまとめることで、幅広い知識と教養を身に付けることができるようにした。(第1号)</p> <p>漢文に関する近代以降の評論文・小説とコラムを採録することで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるようにした。(第1号)</p> <p>単元の言語活動を設けることで、教材同士の有機的なつながりを意識するとともに、主体的に課題に取り組めるようにした。(第2号)</p> <p>古代中国の思想や社会秩序に関する題材とそれに関する近代の小説を採録し、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第3号)</p> <p>古代中国の史伝教材とそれに関する評論文を採録し、史伝に描かれた登場人物の言動・心情・考え方や生き方を学び、生命を尊ぶ態度を養えるようにした。(第4号)</p> <p>自然を題材にした漢詩や漢文を採録し、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるようにした。(第4号)</p> <p>漢文の豊かさに触れることについて解説した文章を読むことで、我が国の伝統と文化・郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第5号)</p> <p>日本漢詩文及び、漢詩文に影響を受けた日本文学を採録することで、中国をはじめとする他国との関わりを理解し、他国を尊重する態度を養うことができるようにした。(第5号)</p>	<p>48頁～49頁、212頁～221頁</p> <p>37頁、52頁、63頁、79頁～83頁、94頁～95頁、110頁、143頁、161頁、178頁、190頁、204頁～205頁、207頁～211頁</p> <p>22頁、38頁、50～51頁、64頁、84頁、96頁、111頁、126頁、144頁、162頁、176頁、188頁、206頁</p> <p>86頁～95頁、128頁～142頁、164頁～171頁</p> <p>24頁～36頁、66頁～83頁、146頁～160頁</p> <p>40頁～45頁、116～124頁、174頁～175頁</p> <p>2～3頁</p> <p>178頁～187頁、199頁～203頁</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色



編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-90	高等学校	国語	古典探究	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※ 教 科 書 名		
明治 117	古探713 古探714	精選 古典探究 古文編 精選 古典探究 漢文編		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

編修の基本方針

- 全ての内容を通して、教育基本法第2条各号に示された目標及び、高等学校学習指導要領に示された目標を達成できるように教材を選択し、配列した。
- 「言葉の力を育み、最高品質の日本語の姿を伝える国語教科書」という理念に基づき編修した。
「言葉の力」とは …新しい自分の発見や、未知の世界との出会いにつながる、生きる糧となる力。
「最高品質の日本語」とは …世界の中の一言語であり、歴史と伝統を持つ日本語の、多種多様な表現から厳選した、論理的明晰さや情感豊かな美しさを持つ良質な日本語。
- 上記の理念を具現化するために、本「古典探究」は、「精選 現代の国語」のテーマ（他者と出会い、自己を知る）、「精選 言語文化」のテーマ（言語文化の成り立ちを知る）を受けて、「言語文化への理解を深め、その担い手となる」というテーマに沿って編修し、生徒は、2年次には「自分の言葉を豊かにする」、3年次には「自分の言葉で文化を伝える」というゴールを目指せるようにした。最終的には、高等学校における国語の学習を通して「『自分の言葉』を見つけ、『自分の言語文化』を築く」ことを目指している。

分冊・単元の構成

- 古文編・漢文編の2分冊とした。
- それぞれの分冊を、2年次、3年次での使用を想定して、前編・後編の2部構成とした。
- 単元の構成は、原則としてジャンル別とした。学習が重点的、かつ効果的に行われることを期待したからである。
- 教材の選定については、以下の点に考慮した。
 - ・古典教材については、高等学校の古典として、「言語文化」で最も基本的なものを幾つか学習していることを考慮し、学習が発展的、系統的に行われるよう工夫した。また、変化のある多様な内容に触れられるように、文種・形態・時代や長短・難易に配慮し、日本漢文、古典における論理的な文章、近代以降の文語文、漢詩文なども含め、バランスよく教材を選定した。
 - ・古典教材をより深く理解する助けとするため、古典に関する評論文や古典を題材とした近代以降の小説を教材として掲げた。
 - ・古文の窓・漢文の窓などで、古典の変遷についての理解を深めるコラム等を掲げた。

〔知識及び技能〕

- 「深い学びのために」の主に「言葉と表現」で、言葉の特徴や使い方に関する問題と、語句や文法の知識・句形の知識を整理する問題を設けた。
- 注の欄に、重要単語を掲げ、付録に古文編では「重要古語の解説および索引」、漢文編では「漢文の重要単語」を設けた。さらに漢文編では、重要句形を掲げ、付録に「漢文の基本句形」を設けた。
これらにより古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解できるようにした。
- 「付録」に「読書のすすめ」を設け、先人の知恵に触れ、自分の考えを広げたり深めたりできる、読書の意義と効用について理解を深める助けとした。

〔思考力・判断力・表現力等〕

- 「A読むこと」について、「深い学びのために」の主に「学習のポイント」と「言語活動」、各単元のまとめとなる「単元の言語活動」で実践的な活動を設けた。
- 「深い学びのために」の「言語活動」と、「単元の言語活動」では、学習指導要領に示された、「言語活動例」に即して、「2. 対照表」に示した実践的な活動を設けた。その際、〔知識及び技能〕との関連を図れるよう配慮した。また、分野や単元を超えた、有機的なつながりを意識し、より深い学びを達成できるように配慮した。

〔学びに向かう力・人間性等〕

- 下記のように、自ら学び続けることができるような工夫を施した。
 - ・単元の冒頭に学習の目標を示し、学習を見通すだけでなく、学習を振り返る際にも役立つようにした。
 - ・「深い学びのために」「単元の言語活動」を通して、「A読む」領域の指導事項・言語活動を主体的対話的に学習できるように工夫し、我が国の言語文化について、自ら学び続けられるように配慮した。

以上のように〔知識及び技能〕〔思考力・判断力・表現力等〕〔学びに向かう力・人間性等〕の習得を支援するとにより、生涯にわたる社会生活に必要な資質・能力を確実に育成できる教科書である。

2. 対照表

図書の内容・構成		学習指導要領の内容					該当箇所	配当時間
		知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等		(2)	(3)		
			読むこと					
古文編								
平安京条坊図・大内裏・内裏		(1)					見返し1	
		(2)	ア					
京都付近図		(1)					見返し2	
		(2)	ア					
旧国名・都道府県名対照図		(1)					見返し3	
		(2)	ア					
はじめに	なぜ古典を学ぶのか	(1)		カ			P.2~3	
		(2)	ア					
前編								
1 説話 1	古今著聞集 安養の尼の小袖	(1)	ア	ウ			P.10~11	
		(2)	イ	ア				
	沙石集 兼盛と忠見	(1)	ア	ウ	オ		P.12~13	
		(2)	イ	ア				
	宇治拾遺物語 伴大納言のこと	(1)	ア	ウ	エ	カ	P.14~15	
		(2)	イ	ア				
2 随筆 1	単元の言語活動1 歌合の判者になってみる	(1)		ウ	オ		P.16	
		(2)	ア	ア				
	徒然草 世に語り伝ふること	(1)	ア	ウ			P.18~19	
		(2)	イ	ア				
	能をつかんとする人	(1)	ア	ウ	イ	ウ	P.20~21	
		(2)		ア				
	世に従はん人は	(1)	ア	ウ	イ	ウ	P.21~22	
		(2)		ア				
	これも仁和寺の法師	(1)	ア	ウ			P.23~24	
		(2)	イ	ア				
	九月二十日のころ	(1)	ア	ウ			P.25~26	
		(2)	イ	ア				
	あだし野の露消ゆるときなく	(1)	ア	ウ			P.26~27	
		(2)	イ	ア				
	3 物語 1	方丈記 ゆく河の流れ	(1)	ア	ウ	イ	ウ	P.28~29
		(2)		イ				
養和の肌纏		(1)	ア	ウ	エ	ウ	P.30~32	
		(2)	イ	ア				
日野山の閑居		(1)	ア	ウ			P.33~35	
		(2)		ア				
古典についての評論文1 『徒然草』をよみなおす(小川剛生)		(1)			エ		P.36~40	
		(2)	ア	ア		ア		
古文の窓1 無常観と『徒然草』		(1)					P.41	
		(2)	ア					
4 物語と日記 1	単元の言語活動2 対談「隠者」は語る	(1)		ウ	エ		P.42	
		(2)	ア	ア				
	伊勢物語 初冠	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.44~45	
		(2)	イ	ア				
	狩りの使ひ	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.45~47	
		(2)	イ	ア				
	小野の雪	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.48~49	
		(2)	イ	ア		オ		
	つひに行く道	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.50	
		(2)		ア				
5 随筆 2	大和物語 魏捨山の月	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.51~53	
		(2)	イ	ア				
	単元の言語活動3 『伊勢物語』のパロディーを読む	(1)		ウ	エ		P.54	
		(2)	ア	ア				
	平家物語 忠度の都落ち	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.56~59	
		(2)	イ	ア				
	壇の浦	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.60~63	
		(2)	イ	ア				
6 物語と日記 2	建礼門院右京大夫集 この世の外に	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.64~65	
		(2)	イ	ア				
	今や夢昔や夢	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.66~67	
		(2)	イ	ア		オ		
	単元の言語活動4 「壇の浦」を朗読する	(1)		ウ	エ		P.68	
		(2)		ウ	エ			
	枕草子 うつくしきもの	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.70~71	
		(2)	イ	ア				
	すさまじきもの	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.72~74	
		(2)	イ	ア				
7 物語 2	九月ばかり	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.75~76	
		(2)	イ	ア		オ		
	中納言参り給ひて	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.76~77	
		(2)	イ	ア				
	【参考】春はあけぼの	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.78	
		(2)	イ	ア				
	古文の窓2 後宮の女房たちの活躍	(1)					P.79	
		(2)	ア					
	単元の言語活動5 「美」の表現の移り変わりを調べる	(1)				キ	P.80	
		(2)	ウ			カ		
8 物語と日記 3	源氏物語 光源氏誕生	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.82~84	
		(2)	イ	ア		オ		
	小柴垣のもと	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.85~89	
		(2)	イ	ア				
	更級日記 門出	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.90~91	
		(2)	イ	ア				
	源氏物語を読む	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.92~94	
		(2)	イ	ア				
	古文の窓3 『源氏物語』の伝来	(1)					P.95	
		(2)	ア					
9 物語 2	単元の言語活動6 「憧れ」プレゼンテーション	(1)				キ	P.96	
		(2)	ウ			オ		
	大鏡 雲林院の菩提講	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.98~100	
		(2)	イ	ア				
	南院の鏡射	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.101~102	
		(2)	イ	ア				
	花山天皇の退位	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.103~106	
		(2)	イ	ア				
	読み比べ 花山天皇の退位(『栄花物語』)	(1)	ア	ウ	エ	イ	P.107~108	
		(2)	イ	ア				
10 和歌	古文の窓4 歴史物語	(1)				ウ	P.109	
		(2)	ア					
11 狂歌	単元の言語活動7 「花山天皇の退位」を読み比べる	(1)	イ	ウ	エ		P.110	
		(2)	ア	ウ	エ	イ	P.112~119	
12 狂歌		(1)	イ	ウ	エ		P.120~121	
		(2)	ア	ウ	エ	イ		

	単元の言語活動6 「長沮・桀溺」の朗読劇を創作し、演じる	(1) イ	カ			P. 96			
7 小説	周式	(1) ア	エ			P. 98～99			
	枕中記	(1) ア	エ			P. 100～105			
		(2) イ	イ						
	人面桃花	(1) ア	エ			P. 106～109			
		(2) イ	ア						
	漢文の窓5 中国の小説	(1) イ	エ		ウ	P. 110			
(2)									
単元の言語活動7 小説のリライトに挑戦する	(1) ウ	エ	オ		P. 111				
	(2)								
漢文の 名句・名言	言語活動 「漢文の名句・名言」について随筆を書く	(1)	カ		P. 112～114				
		(2)	キ						
後編									
1 詩2	桃夭／秋風辞／行行重行行／飲酒／代悲白頭翁／月下独酌／ 兵車行 単元の言語活動1 詩の背景にある物語を想像する	(1) ア	エ	イ	ウ	エ	P. 116～125		
		(2) イ				オ			
2 思想2	孟子 性善	(1)			ウ	オ	キ	P. 128～129	
		(2) イ	ウ			オ			
	荀子 性悪	(1) ア		ア				P. 130～131	
		(2)		ア					
	老子 上善若水／無用之用	(1)					カ	P. 132～133	
		(2) イ	ウ			オ			
	荘子 夢為蝴蝶	(1) ア	ウ	ア	ウ			P. 134	
		(2) イ	ウ	ア	ウ				
	桓公読書於堂上	(1) ア	イ	エ	ア	ウ		P. 135～136	
		(2) イ	ウ	ア					
	墨子 兼愛	(1) ア	ウ	ア				P. 137～138	
		(2) イ		ア					
	韓非子 侵官之害	(1) ア					キ	P. 139～140	
		(2) イ				オ			
孫子 百戦不殆	(1) ア					カ	P. 141～142		
	(2)				オ				
漢文の窓6 諸子百家	(1) イ			エ			P. 143		
	(2)								
単元の言語活動2 思想家の「立場」に立って、批評に反論する	(1) ウ					キ	P. 144		
	(2)				オ				
3 史話・ 史伝3	史記 廉頗・藺相如	(1) ア	イ	ウ	ア	オ	P. 146～151		
		(2) イ	ウ	ア					
	荆軻	(1) ア	イ	ア				P. 152～157	
		(2) イ		ア		エ			
	【参考】天道是邪非邪	(1) イ				エ		P. 158～160	
		(2)							
漢文の窓7 司馬遷	(1) イ				エ		P. 161		
	(2)								
単元の言語活動3 「記録」という行為の持つ意味を考察する	(1) ウ				オ		P. 162		
	(2)		ア						
4 文・随筆	師説	(1) ア	ウ	ア	イ		ア	P. 164～167	
		(2) イ		ア					
	捕蛇者説	(1) ア	ウ	ア	イ			ア	P. 168～171
		(2) イ		ア					
	正午牡丹	(1) ア	ウ	ア	ウ			P. 172～173	
		(2) イ		ア	ウ				
西湖	(1) ア	ウ	ア	ウ			P. 174～175		
	(2) イ		ア						
単元の言語活動4 中国の名文に文章の書き方を学ぶ	(1) ウ				キ		P. 176		
	(2)		ア						
5 日本人と 漢詩文	日本の漢詩文	(1)			エ		ウ	P. 178	
		(2) ア							
	詠家書／九月十三夜／夜下墨水／送夏日漱石之伊予／題自画 ／無題	(1) ア	イ	ア	ウ			ア	P. 179～182
		(2) ア	イ	ア	ウ				
	壇ノ浦	(1) ア	イ	ア	イ			ア	P. 183～185
		(2) ア	イ	ア	イ				
筋篇	(1) ア		ア	イ			ア	P. 186～187	
	(2) ア		ア	イ					
単元の言語活動5 なぜ漢詩文で表現したのか	(1) ア				カ		P. 188		
	(2) ア				カ				
6 「長恨歌」 と日本文学	「長恨歌」と日本文学	(1)			エ		ウ	P. 190	
		(2) ア							
	長恨歌	(1) ア	イ	ア	ウ			P. 191～198	
		(2) ア	イ	ア	ウ				
	源氏物語 桐壺	(1) ア				カ		P. 199～200	
		(2) ア		イ					
	枕草子 木の花は	(1) ア				カ		P. 200～201	
		(2) ア		イ					
謡曲 楊貴妃	(1) ア				カ		P. 202～203		
	(2) ア		イ						
漢文の窓8 『白氏文集』と日本文学	(1) ア			エ			ウ	P. 204～205	
	(2) ア								
単元の言語活動6 日本文学における「長恨歌」受容の諸相を探る	(1) ア		イ		カ		P. 206		
	(2) ア		イ		カ				
古典について の評論文2	本の中の世界 『莊子』(湯川秀樹)	(1)			エ		ア	P. 207～211	
		(2)		エ					
付録	漢文の基本句形	(1)					P. 212～217		
		(2) イ							
	漢文の重要単語	(1) ア					P. 218～221		
		(2)							
読書のすすめ	(1)					P. 222～223			
	(2) エ								
中国文化史年表		(1)					見返し4～6		
		(2) ア							

「3 内容の取扱い(1)」については、教材全体を通して対応するよう配慮した。

「3 内容の取扱い(2)」については、教材全体を通して対応するよう配慮し、とりわけイ・ウについては、該当する教材についてのみ記入した。

「3 内容の取扱い(3)」のアについては、教材全体を通して対応するよう配慮し、とりわけ、日本漢文、古典における論理的な文章、近代以降の文語文、漢詩文、古典についての評論文に該当する教材についてのみ記入した。